

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 防災啓発推進費（枠外）（新型コロナ対策）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災企画係 電話番号：058-272-1111(内2840)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 14,155 千円 (前年度予算額： 12,524 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	12,524	0	0	0	0	0	0	0	12,524
要求額	14,155	0	0	0	0	0	0	0	14,155
決定額	8,063	0	0	0	0	0	0	0	8,063

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

「常態化する想定外」の災害から命を守るためには、県民一人ひとりがハザードマップ等で自らの災害リスクを認識し、その高まりに応じて主体的に避難するなど、自助・共助の底上げが必要となっている。令和2年度から5年間を計画期間とする第2期県強靱化計画では、強靱化推進の基本的な方針として「防災教育」を位置づけ、「災害から命を守る岐阜県民運動」を全世代に向けて展開することとしている。

(2) 事業内容

防災啓発イベント「ぼうさいキャラバン」、防災訓練参加等の防災行動のインセンティブとする「ぼうさいポイント」、地震体験車を活用した地震防災啓発活動等により県民の防災への意識を高め、行動に移すきっかけづくりとして、引き続き県民運動を推進していく。

また、世代によって情報取得媒体が異なる傾向があることから、新聞、雑誌や動画コンテンツといった様々な媒体を用いて防災意識の向上を図る。

○ぼうさいキャラバン

・デジタル環境のない県民や無関心層に、防災意識を持っていただく機会として、大型商業施設等において防災啓発イベントを開催。また、LINE公式アカウントを活用し、防災行事への参加等でポイントを獲得し、防災グッズを進呈。防災訓練や防災イベント等への参加を促進。

○新聞・雑誌等による広報

・デジタル環境のない県民や無関心層に、防災意識を持っていただくため、新聞や雑誌等を活用し、防災啓発を実施。

○YouTube動画の配信

若年層を対象に、県内で発生した災害の教訓を踏まえ1本3分程度の防災啓発動画を作成し、YouTubeで広く発信。各種イベントや企業等での研修等での活用。

○地震防災啓発活動

地震体験車を県内各地のイベントに出展するほか、県民一斉防災訓練「ぎふシェイクアウト」等を実施し、巨大地震への備えの重要性を啓発。

○FMぎふ広告掲載

FMぎふが作成する「ぎふ防災ハンドブック」に防災啓発の広告を掲載

(3) 県負担・補助率の考え方

県民の防災意識向上のため県で負担する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	263	県民会議等
旅費	195	業務旅費等
需用費	205	会議費、消耗品費
需用費	365	印刷製本費
需用費	230	燃料費
役務費	199	通信運搬費、賠償保険
使用料	54	有料道路使用料
委託料	12,644	業務委託料
合計	14,155	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第2期県強靱化計画

強靱化の基本的な方針として「防災教育」を位置づけ（第1章3（3））

県民運動、ポイント付与制度等について記載（第5章3（10））

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

災害時、平時に県民が主体的に適切な行動をとることによって自らの命は自らが守るとともに、各々が地域防災のために必要な役割も果たす。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①災害や緊急時の備えが出来る人の割合	75%	89.7%	91.1%	75%	75%	120%
②ハザードマップにより地域の危険性を把握している人の割合	41%	63.1%	60.6%	70%	75%	84%
③LINEアカウントの友だち登録者数	4,526 (R2)	5,500	10,745	13,500	20,000	28%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	「災害から命を守る岐阜県民運動」への参画を呼びかけ、82団体の賛同を得て県民運動を開始。 LINEアカウントの友だち登録者は約4,700人、YouTube動画の総視聴回数は約15,000回（令和2年度末時点）であり、幅広い世代に対して防災に関する情報を周知することができた。
令和3年度	コロナ禍のため、YouTube動画や商業施設等でのパネル展示を実施。 防災イベント等の開催を自粛したためLINEの友達登録者数は約800人増にとどまったが、様々な機会において、防災に関する情報を周知することができた。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	LINEアカウントの友だち登録者は約5,000人（1/6時点）増、YouTube動画の総視聴回数は約15,000回、防災イベントも複数回開催しており、幅広い世代に対して防災に関する情報を周知することができた。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	令和2年7月豪雨災害においても実効性のある避難対策が課題とされており、県民の自助・共助の底上げが求められている。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 1	災害や緊急時の備えができていない人の割合は目標を達成したが、ハザードマップにより地域の危険性を把握している人の割合は目標に程遠いため、重点的に取り組んでいく。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	感染状況に鑑み、効果的・効率的に事業を行うため、デジタルコンテンツによる啓発等を実施している。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 感染状況によっては、防災イベントや防災訓練等といった人が集まることに対し制約が生じることがある。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 第2期強靱化計画に基づき、KPIを達成するよう取り組む。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	農業フェスティバル、F C 岐阜の試合等に出展
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	より多くの来客者に防災教育、啓発を実施することができる

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--